

港南よこはまメディカルフェスティバル 2025 実施要項

1 開催概要

(1) イベント名称

「港南よこはまメディカルフェスティバル 2025」(以後MF)

[* 2024開催の様子はこちら→港南よこはまメディカルフェスティバル2024開催報告書](#)

(2) 実施期日及び実施場所

実施期日: 2025年5月18日(日) 開場時間10時～15時

開催場所: 港南ふれあい公園、港南中央地域ケアプラザ、港南つくしんぼ保育園

(3) イベント目的

健康や病気、福祉の問題は、国民誰もが自らのこととして直面する問題である。しかし、これらの問題に関して事前に考え、準備することは少なく、実際に問題が起き、当事者となって初めて対処することが多いのが現状である。特に現役世代の子育て世帯の多くは、健康や、生活習慣病などの病気¹⁾、いのちについて²⁾考える機会は少ない。そのような世帯の子供たちは、急速に進む少子高齢化社会のなかで成人を迎えることになるが、自分たちが関わり、解決しなければならない健康、病気、いのちの大切さに関して、現状を知る機会が少ない。

「港南よこはまメディカルフェスティバル2025」の中で、健康、病気、障がいに関する様々なコンテンツを提供することで、来場する大人には、今後向き合う健康、病気、障がいの現状や課題、さらにはいのちの大切さを知ってもらう。また今後起きた問題に対して速やかに行動できるように、あるいは問題が起きる前に準備を行えるようになるための知識を身につける機会としてもらう。子どもには体験やイベントを通して、今後の社会問題を考えるきっかけを提供し医療だけではなく、その根本となるいのちの大切さへの関心を高めてもらう機会とする。

来年度のイベントサブタイトルは『～まずは知ろう、ひととのつながり、ちいきのつながり～』をかけた、すでに地域で活動している団体やその活動内容を知り、よりひとと地域がつながり、相互理解を深め、協力し合える体制を整える機会を提供する。

本イベントは営利目的ではなく市民の健康意識向上かつ子供や大人のいのちを育む企画とすることを目的としている。

(4) 実施内容

ア 健康、医療、福祉にかかわる事業所、機関によるテントを展開し、展示にとどまらず体験中心のコンテンツを提供。また、スタンプラリーも組み合わせ3コンテンツのスタンプ獲得による景品提供。あわせて、地域店舗等(福祉施設を含む)によるテントでの軽食提供

イ 開催目的である健康の維持(食事、運動)、疾病、様々な障がいについての理解、介護、福祉サービスの理解、未来へつながる地域社会の構築、地域ごとに抱える問題を再検索に関するアンケートの実施(来場者、参加事業関係者)

(5) 集客対象及び集客数

集客対象 未就学児～小・中学生の子供をもつ家族

集客目標 合計約4,000名(2024年開催時の来場者数は約1500名)

(6) 実施団体構成

主催 MF実行委員会

委員長 開田 脩平(みらい在宅クリニック港南 院長)

顧問 日下部 明彦

(横浜市立大学 総合診療医学 准教授、横浜市医師会 常任理事)

副委員長 荻久保 頼則(港南区笹下連合町内会長)

豊田 洋(済生会横浜市南部病院 救急診療科 診療部長)

事務局長 隅田 直子(みらい在宅クリニック MSW)

委員 服部 亜矢子(アール薬局 薬剤師、港南区薬剤師会 副会長)

奈良 健(サン薬局 南部在宅療養支援部 薬剤師)
生末 慶子(港南区福祉保健課 事業企画担当 保健師)
荒谷 和美(港南中央地域ケアプラザ)
佐々木 敬子(港南中央地域ケアプラザ ケアマネジャー(CM))
飯野 智恵(秀峰会 瑞穂の大地訪問看護ステーション管理者 看護師)
稲村 真記子(いろどり訪問看護ステーション管理者)
松本 由美(港南区医師会居宅介護支援事業所管理者 CM)
村山 幸子(二人三脚居宅介護支援事業所管理者 CM)
服部 昌子(あったか訪問看護ステーション居宅介護支援事業所 CM)
進藤 宏美(非営利団体 ぱっちーく代表)
金子 美玖(大学生)
監事 笠原 みどり(済生会南部訪問看護ステーション 看護師・理学療法士)

共催 笹下連合町内会、横浜市医師会(予定)、港南区医師会、港南区歯科医師会、港南区薬剤師会、港南中央地域ケアプラザ、済生会横浜市南部病院
後援 港南区青少年指導員協議会(笹下地区)
協賛 企業PR(チラシやガイドブックに記載、ステージエリア看板)

(7) 広報手段・スケジュール

地域情報誌、雑誌等、地元のメディアと連携し、MFに関する多くの情報をリアルタイムに発信。リーフレットを3月下旬より順次メディア担当者へ配信。地域の保育園、幼稚園、小中学校へのリーフレットも配布。LINE、Facebook、Instagram、TwitterでMFのキャンペーンの情報やコンテンツ内容を更新していく。

(8) 開催場所の港南ふれあい公園選定理由

9,701㎡と広大な面積かつ地面も平坦に整地されている。テントを設営し、複数のイベント(コンテンツ)を運営するにあたり、テントも安定して設営することができ、職業体験などを行いやすい環境となっている。港南ゆめワールドを始め、自治会や様々な団体でのイベントにも利用されており、運営側、来場者ともにイベント開催時のイメージが付きやすい。また市営地下鉄ブルーラインの港南中央駅から徒歩5分、市営・神奈中・江ノ電:港南区総合庁舎前から徒歩5分と港南区内であれば様々な地域からのアクセスに優れている。上記複数の理由から選定した。

2 参加者テント及びプログラム

(1) 健康、医療、福祉テント参加者関係

資料1参照

(2) 地元店舗関係者

地元店舗や福祉施設の物販を入れて集客の助けにする。

(3) 警備、その他

ふれあい公園の前の道路は封鎖しない。

ゴミに関してはゴミ袋を配布し、持ち帰りを促す。

3 資料

1) 令和4年 国民健康・栄養調査結果の概要

(<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001296359.pdf>)

2) 令和4年度人生の最終段階における医療・ケアに関する 意識調査の結果について(報告)

(<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/001103155.pdf>)

港南よこはま メディカル フェスティバル 2025

まずは知ろう
ひととのつながり
ちいきのつながり

リラのいえ
患者・家族滞在施設
リラのいえのご紹介
～きょうだい児保育の
遊び体験もあきよ！～

南部病院
外科
目指せ！
未来のドクターX
「私、失敗しないので」

港南警察署
移動文器体験

港南区地域
リハビリ連絡会
親子で楽しむ
こどもロコモ体験

南部病院
救急診療科
みんなの命を考えよう

日本デフ聾上
聴覚協会
デフリンピックを
知ろう！

港南区役所
今、この時に
大地震がきたら
あなたはどうしますか？

うみとそらのおうち
こどもホスピスって
なあに？

南部病院
看護部
未来の元気を
考えよう！

Small Step
ユニバーサルな
メロディを奏でよう♪

港南区
訪問看護連絡会
あつまれ！
未来のナース！

きんぎょ防衛
起震車体験

ハマの多職種ユニット
劇団 完熟みかん
ちかばあちゃんと
もしも手帳

ばっちわーく
ハート♥モスベットを
作ろう
～その個性を大切に～

港南区医師会
レントゲン写真
クイズ

現代総合内科医による
実践半導体指導

鎌倉女子大学
家政学部管理栄養学科

いのちの
大切さを知ろう

南部病院
産婦人科

こども食堂
+
港南中央地域ケアプラザ
ポップコーン販売
展示

2型コラーゲン製薬
患者・家族の会
聞いて！見て！知って！
～私たちを絵本で

よこはま港南区
地域包括ケア病院
ドクターカー体験

医療職、福祉職、地域のみんなが子どもや大人のために考えた、
健康、病気、いのちの大切さを楽しみながら知って学べる
体験参加型イベントです

2025年5月18日(日)10時～15時

開催場所: 港南ふれあい公園
港南中央地域ケアプラザ
港南つくしんぼ保育園

参加費: 無料
(一部コンテンツは有料です)

お越しの際は公共交通機関をご利用ください

主催: 港南メディカルフェスティバル2025実行委員会

共催: 笹下連合町内会 港南区医師会 港南区歯科医師会
港南区薬剤師会 港南中央地域ケアプラザ
済生会横浜市南部病院

**フォト
スポット**